

# 民謡流し弥彦駅前まで

## 駅前通りは祭りなのに暗い

### 駅前での踊り検討を

弥彦燈籠(とつろ)まつりの協賛会(会長・小林豊彦弥彦村長)は四日午後四時から弥彦村弥彦、櫻家で平成三十年度納金を開き、収支決算を全会一致で承認。各協賛行事の実施状況、反省事項を報告し、来年の弥彦燈籠まつりがさらに盛大に行われるように意見交換した。

弥彦燈籠まつりはこと押し、芸妓連花燈籠、前故もなく終わった。しも七月二十四、二十五、夜祭などかすかすの協賛

二十六の三百間、弥彦行事で盛り上がった。納会には協賛会役員など約三十人が出席。開会社を中心に行われ、弥彦、ことしは猛暑のため、あいさつで、小林村長は、神社燈籠神事のみこし渡、子ども燈籠押しは巡行コ

御、大燈籠巡行をはじめ、一スを短縮したが、そのが自立したことによれば、ほかの協賛行事は予定通り、「弥彦神社、燈籠まつり行進、青年・児童燈籠り行い、熱中症などの事つりも世界的にも名前が

# 外国人観光客も目立った

## 金が落ちる仕組みも必要



「世界的に知られるようになってきた」とアピールする小林村長

知られるようになって非常にうれしく思うが、この対応も来年以降ちゃんとならなければならぬ。併せて、もう少し観光客がたくさん来て、お金を落とすとしていただく仕組みが必要かと思う。反

省材料として皆さんと力を合わせてやっていきたい」と述べた。

来賓の渡部吉信弥彦神社宮司代務者は燈籠まつりが無事終了したことに感謝し、「燈籠まつりは新潟県を代表する夏祭り、日本を代表する夏祭り。来年もますますにぎやかに、隆盛になるように皆さんのさらなる協力ををお願いしたい」と述べた。

收支決算は収入一千百五十二万七千二百七十二円、支出一千八百八十八万六千四百六十四円、差し引き六十四万七千二百八十八円は来年度に繰り越す。

収入は弥彦村の観光収入は煙火募集額一千

一、一般男子の周回数

を従来

の一人二周回から一周回に変更し、終了時間が早まったため、ことしは芸妓連花燈籠、青年・児童燈籠押し

のスタートを十

分早めた。事務局は来年以降もスタートを早めるが、駅前大会が土、日曜に重なった場合は一般男子の参加が増えるため、再び一人二周回に戻す可能性があることを説明した。

大燈籠巡行では、新潟市の講中の人々が倒れて救急車が出勤する場面があったが、救急車の中で蘇生し、搬送先の病院で意識が回復したことを報告。自動体外式除細動器(AED)の設置場所の明示、警備本部への職員の常駐の意見が出た。



寺のまつり盛況をアピールする渡部弥彦神社宮司代務者

伝費八百五十万円、弥彦二十九万五千円、プログラムの協賛行事助成金五十五万円、観光協会の行事など。支出は煙火代金八十万円、協賛金百九十五万四千八百円、助成金三十万円、協賛金百九十五万四千八百円、百二十六万九千七百円など。支出は宣伝装飾費三百円、雑費五十二万六千七百三十三円、印刷費十六万七千三百六十六円、募集員手当十一万七千八百円など。

煙火発注額について、今年度は据え置きとし、来年度は一千万円、燈籠まつり駅伝大会四十二万円、たいまつ行進三十七万円など。

煙火(花火)大会收支決算は収入一千七十九万二千七百三十九円、支出一千二百一十六万二千八百八十八円、差し引き五百五十九万八千四百五十一円は来年度に繰り越す。

収入は煙火募集額一千

一、一般男子の周回数

を従来

の一人二周回から一周回に変更し、終了時間が早まったため、ことしは芸妓連花燈籠、青年・児童燈籠押し

のスタートを十

分早めた。事務局は来年以降もスタートを早めるが、駅前大会が土、日曜に重なった場合は一般男子の参加が増えるため、再び一人二周回に戻す可能性があることを説明した。

大燈籠巡行では、新潟市の講中の人々が倒れて救急車が出勤する場面があったが、救急車の中で蘇生し、搬送先の病院で意識が回復したことを報告。自動体外式除細動器(AED)の設置場所の明示、警備本部への職員の常駐の意見が出た。

民謡流しについては、最後のグループが一ノ鳥居前を出発すると間もなく終了するとして、「駅前通りは祭りなのに暗い。電車で来た人はどこで祭りをやっているのかという感覚になる。両側にちようちんをつけるか、祭りを盛り上げるアイデアが必要でないか」という意見が出た。

小林村長は「駅前もきれいになったので、駅前まで民謡流しを行っていただければ全体が参加することになる」として、現在、防災機能付き多目的施設やホール前で終わ



海老名 三条駅前 0256(33)1443

お食事会から宴会まで 無料送迎バスあります

女性支持率 No.1 株式会社 県央代行 0256 36-6611

月～土曜 PM2:00～AM3:00 日曜・祭日 PM2:00～AM2:00 予約歓迎